

いわゆる不整合関係は認められない。

以上の解釈は 既述論文(甲藤・増田・左向 1976)による両層の古生物学的考察と相まって 両層間に時間的間隙の殆んど認めたいことを裏づけるものであり また田ノ崎の田並層基底部近くから *Portlandia watasei* (KANEHARA), *Euspira* cf. *ashiyaensis* (NAGAO) などの浅海棲の貝化石などを産することは 既述の堆積環境の急変を物語るものであろう。

なお 田並図幅(水野・今井 1964)による田ノ崎半島部の牟婁層群の等斜褶曲構造説 或いは紀州四万十帯団体研究グループ(1969)による転倒向斜および扇型背斜構造説などに対しては 筆者は既述のように それらが構造運動によるものではなく スランピング構造によるものと解釈していることを付記する。

おわりに

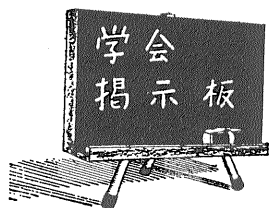
本文では 串本町田ノ崎における従来のいわゆる“熊野層群と牟婁層群の不整合関係”についての否定的見解を述べた。

したがって 田並層は牟婁層群にひきつづき堆積し 一部は Rubble conglomerate で始る漸新統の地層であって いわゆる熊野層群に含まれる地層ではなく 牟婁層群に含まれる地層であろう。

以上は 下里を通る環状岩脈以南の地域についての予察であるが 全般的に紀州を考察した場合の牟婁層群の上限及びいわゆる熊野層群の再検討の結果については 甲藤・増田及び左向による今後の研究発展をまって 再び言及することにしたい。

参考文献(※印は本誌260号34頁と重複)

甲藤次郎・増田孝一郎・左向幸雄 1976: いわゆる牟婁層群上部層についての新知見 高知大学学術研究報告 第24巻 自然科学 第15号
 甲藤次郎 1976: ゆらぐ南紀の玉手箱 ～サラシ首 ゲテモノ化石 黒潮古陸のことなど～ 地質ニュース no.260
 勘米良 亀齡 1976: 過去と現在の地向斜堆積体の対応 I・II 科学 5月号・6月号
 木村敏雄 1974: 西南日本と古ジオダイナミックス 海洋科学 6
 木村敏雄 1976: 日本列島をめぐる地体構造と堆積盆地 石油技術協会誌 第49巻 第1号
 ※紀州四万十帯団体研究グループ 1969: 紀伊半島南部海岸地域の層序と構造—紀伊半島四万十帯帯の研究(その3)—和歌山大学教育学部紀要 自然科学 第19集
 紀州四万十帯団体研究グループ 1975: 四万十地向斜の発展史 地団研専報19
 水野篤行 1953: 下里統について 地質雑 第59巻 第692号
 ※水野篤行・今井功 1964: 5万分の1地質図幅「田並」および同説明書 地質調査所
 鈴木博之 1975: 地向斜堆積物の変形構造と変形史—牟婁フリッシュ・ネプトンを例として— 地団研専報19



・日本古生物学会

1. 昭和51年10月4日(月)
2. 日本古生物学会 118 回例会
3. 北海道大学理学部 札幌市北区北10条西8丁目
4. 日本古生物学会
5. 仙台市青葉山

東北大学理学部地質学古生物学教室
 小高民夫 電話(0222)22-1800

・日本岩石鉱物特殊技術研究会

1. 昭和51年7月27日(火)～29日(木)
2. 第19回研究発表会(金属 非金属 構造地質 耐火物等の薄片 研磨片の作成に関する講演会)
3. 京都大学理学部地質学鉱物学教室(京都市左京区北白川追分町)
4. 日本岩石鉱物特殊技術研究会
5. 神奈川県川崎市高津区久本135 地質調査所内
 日本岩石鉱物特殊技術研究会
 電話(044)866-3171(内線211)

・日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会・日本鉱物学会

(三鉱学会)

1. 昭和51年10月19日(火)～20日(水)
 見学会 10月21日(木)～22日(金)
2. 三鉱学会 昭和51年度秋期連合学術講演会
3. 鹿児島大学教養部
4. 上記三鉱学会
5. 鹿児島市郡元1-21-30 鹿児島大学教養部
 浦島幸世 電話(0992)54-7141(内線989・990)

・日本地球化学会

1. 昭和51年10月14日(木)～16日(土)
2. 1976年度日本地球化学会年会
3. 名古屋大学教養部
4. 日本地球化学会
5. ①気象研究所地球化学部内地球化学会事務所(166) 東京都杉並区高円寺北4-35-8
 電話(03)337-1111(内線75)
 ②名古屋大学水圏科学研究所 北野 康(464) 名古屋市千種区不老町 電話(052)781-5111
6. 課題討論は次の2題が計画されている
 A 「地球化学における軽元素安定同位体研究」
 B 「水圏の有機地球化学」

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者
 5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)